

# 施工要領書 **ビス・接着剤併用工法** 接着剤 EP-1000 (エポキシ樹脂系接着剤)

RC・ジェットバーナー石材・フローリング・塩ビタイル等一般床に使用出来ます。

1. 取付面の汚れ、油分、水分等を除去して下さい。
2. 墨出し後、取付ゲージプレートをあて、取付用孔  $6\Phi$ mm を空けて下さい。
3. 孔の中・外の石粉等を十分に除去して下さい。
4. 指定のカールプラグを打込んで下さい。(  $\Phi 6 \times 25$  )  
※ 木床の場合はプラグ不要ですが、**床暖房の場合はビスの長さに注意**して下さい。
5. 床面又はチップ裏面・ビス穴に、接着剤を必要量塗布し、取付ビスで固定して下さい。(下図参照)
6. はみ出した接着剤は、アルコール・エタノール等で拭き取って下さい。
7. 養生時間：夏場12時間・冬場24時間 (施工時の温度は  $0^{\circ}\text{C}$  から  $+40^{\circ}\text{C}$  で可能です。)

## 《接着剤使用上の注意》

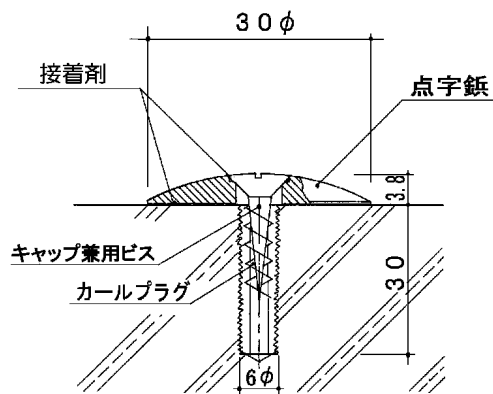
1. 主剤・硬化剤を1対1の割合で必要な分だけよく混ぜてください。(色が白くなるまで)
2. 主剤、硬化剤の取り出しは別々の道具(金ヘラ、ポリベラ、ベニヤ板など)を使用してください
3. 硬化時間：30分～2時間ほどで動かなくなり、24時間～48時間で完全硬化します。
4. 混合していない容器に残った接着剤は、1ヶ月以内にご使用ください。保存する場合は、暗所、低温場所で日光などの当たる場所は避けてください。(保存温度： $5^{\circ}\text{C}$ ～ $35^{\circ}\text{C}$ )

※ 平滑でない床面に施工する場合接着剤が乾くまで錐が浮かないよう重石等で床面に密着させて下さい。

※ 目地が6mm以上の場合は、目地部分の床面に合わせてモルタルなどで埋めてご使用下さい。



接着剤1対1で混合(白くなるまで)



# 施工要領書ビス・接着剤併用工法 接着剤 EP-1000 (エポキシ樹脂系接着剤)

RC・ジェットバーナー石材・フローリング・塩ビタイル等一般床に使用出来ます。

1. 取付面の汚れ、油分、水分等を除去して下さい。
2. 墨出し後、取付ゲージプレートをあて、取付用孔  $6\Phi$ mm を空けて下さい。
3. 孔の中・外の石粉等を十分に除去して下さい。
4. 指定のカールプラグを打込んで下さい。(  $6\Phi \times 25$  )
5. 木床の場合はプラグ不要ですが、**床暖房の場合はビスの長さに注意**して下さい。
6. 床面又はチップ裏面に、接着剤を必要量塗布し、取付ビスで固定して下さい。(下図参照)
7. 取り付けビスの、ビス頭が出ない様注意して下さい。(皿ビス 頭径 7mm 使用)
8. ベースとキャップを接着剤で接着して下さい。(下図参照)
9. はみ出した接着剤は、アルコール・エタノール等で拭き取って下さい。
10. 養生時間：夏場 1 2 時間・冬場 2 4 時間 (施工時の温度は  $0^{\circ}\text{C}$  から  $+40^{\circ}\text{C}$  で可能です。)

## 《接着剤使用上の注意》

1. 主剤・硬化剤を 1 対 1 の割合で必要な分だけよく混ぜてください。(色が白くなるまで)
2. 主剤、硬化剤の取り出しは別々の道具 (金ヘラ、ポリベラ、ベニヤ板など) を使用してください
3. 硬化時間： 30 分～2 時間ほどで動かなくなり、24 時間～48 時間で完全硬化します。
4. 混合していない容器に残った接着剤は、1 ヶ月以内にご使用ください。保存する場合は、暗所、低温場所で日光などの当たる場所は避けてください。(保存温度： $5^{\circ}\text{C}$ ～ $35^{\circ}\text{C}$ )

※ 平滑でない床面に施工する場合接着剤が乾くまで鋸が浮かないよう重石等で床面に密着させて下さい。

※ 目地が 6mm 以上の場合は、目地部分の床面に合わせてモルタルなどで埋めてご使用下さい。

